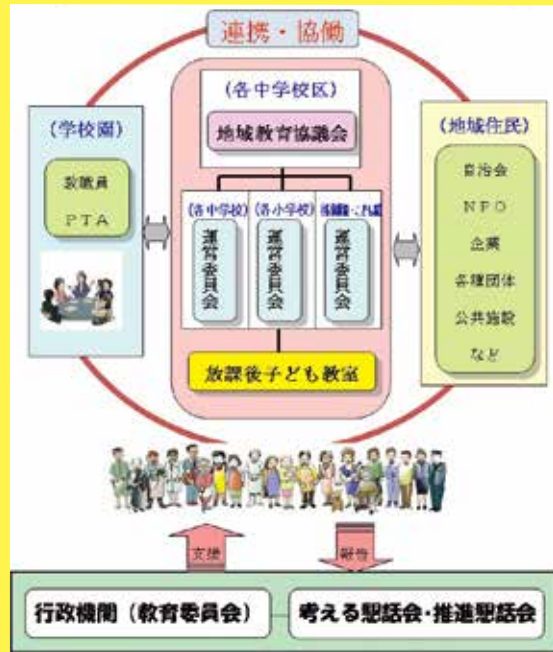


30 万人の市民を先生に 「学校・家庭・地域で子どもたちを育てる」 ～地域教育推進事業について～

事業を推進する組織体制



奈良市では、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりを進めるために、「奈良市地域教育推進事業」（「地域で決める学校予算事業」と「放課後子ども教室推進事業」の2本柱）を推進しています。

「**地域で決める学校予算事業**」は各中学校に設置されている「**地域教育協議会（学校支援地域本部）**」が、「**放課後子ども教室推進事業**」は各小学校の**運営委員会**が主体となって運営をしています。

各学校園で様々な活動をしています。
「一緒に学校支援の活動してみたい！」
「何かできることあるかしら？」
と思われた方は、各学校園にお問合せください。

地域で決める学校予算事業



地域と学校の合同行事



生徒会活動支援



授業補助



学習支援

放課後子ども教室推進事業



スポーツ（ダンス）



実験教室



茶道



読み聞かせ

奈良市地域教育推進事業 第5回 交流の集い



地域で育てる 地域でつながる
広げよう 続けよう 人も地域も育つ
ネットワークづくり

2月13日に、なら100年会館で第5回「交流の集い」が開催されました。「すべては子どもたちのために」を合言葉に、地域の方々や学校関係者等が地域教育推進事業の各取組を紹介し、交流を行いました。

今回は『社会力を身につけた子どもたちを育てる』ことを目指し、「ジュニアインターンシップ」と「学区ブランド産品」（飛鳥中学校・都南中学校・富雄中学校・月ヶ瀬中学校・二名中学校）についてポスターセッションもあり、中学生が大人に向け懸命にプレゼンテーションをした後、質疑応答が行われました。臨機応変に受け答えをすることで、中学生にとって貴重な学びの場になりました。大ホールでは21中学校区が4つのグループに分かれ、地域の方々が活動報告をポスターセッションの形式で行いました。自分たちの地域でできることはないかと他地域の取組発表を熱心に聞き入り、意見交換する姿があちこちで見られ、会場は活気であふれていました。

参加者からは、「奈良市全域に子どもたちのために頑張っている仲間がいることがわかり、このような交流の場はとてもいい機会になります。これからの活動にも力が入ります。」という感想も聞かれました。

閉会式のまよめの講評では、文部科学省社会教育課の渡辺栄二室長から、「子どもの成長を願い、熱心に活動される方々と実際に会うことができた。地域の方々のネットワークをぜひ奈良市全域に広げてほしい。」と力強い応援の言葉をいただきました。

最後に、実行委員の方々、子どもたちと参加者が「みんなであつこう」を全員で合唱し（写真上）、盛大に行われた交流の集いが幕を閉じました。

コーディネーターさんにインタビュー



徳家 眞さん

月ヶ瀬中学校区
総合コーディネーター

Q：コーディネーターとして、どのような活動をされているのか教えてください。

A：例えば、20年間続いている生徒会活動の「アルミ缶を集めて車イスを贈ろう」の支援です。アルミ缶を学校に運び込む作業や、生徒たちがつぶしたアルミ缶を工場へ運ぶ作業を地域の方やボランティア「愛歩21」にお願いしています。換金したお金（約25万円/年）で車イス等の福祉機器を購入し、地区社会福祉協議会や地元の特別養護老人ホームに贈る活動をしています。月ヶ瀬の子どもたちには、自分の生まれた故郷を誇りに思ってもらいたい、という願いを持っています。そのために、伝統芸能（尾山万歳・狂言）、地場産業（梅・茶）を学ぶ活動や月ヶ瀬梅林や染物等の歴史を知り、その良さを発信する機会を作るなどの支援をしています。

コーディネーターさんにインタビュー



和田 めぐみさん

鶴舞小学校
放課後子ども教室
コーディネーター

Q：放課後子ども教室のコーディネーターの活動をされていて、楽しいと感じることを教えてください。

A：手芸や工作などのものづくりの活動をしている時など、子どもたちが夢中になって取り組み「できた!」と喜ぶ姿を見ると、やりがいを感じます。何といっても、子どもたちと触れ合っている中で、子どもたちの反応が直接返ってきます。準備や調整の苦労も吹き飛ばすくらい元気をもらっています。「地域の子どものために何かしたい。」と思われている方はボランティアとして気軽に参加してみてください。きっと子どもたちの笑顔に引き込まれると思いますよ。

富雄第三中学校区地域教育協議会が文部科学大臣表彰受賞



富雄第三中学校区地域教育協議会の方々

地域の方々による学校支援活動の内容が評価され、富雄第三中学校区地域教育協議会が、12月3日に「平成27年度優れた『地域による学校支援活動』」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞しました。

小中学校の取組として、全校朝会やPTA総会でコーディネーターが紹介されるなど、教職員とのつながりが構築されていることが特徴的です。また、コーディネーター会議を定期的に開催して学校園の実情を共有化し、連携・協働の定着を図る取組をされています。

主な取組について

富雄第三小中学校が小中一貫校として開校した平成23年に地域教育協議会が組織されました。学校と地域が協働して小中一貫教育の基盤を整え、「めざす子ども像」を共有できるように「幼小中連携教育を地域とともに、そして街づくり～交流～」をテーマとし、次の取組に力を入れて活動してきました。

- ★「夏休み子どもプロジェクト『世界の国からコンニチハ!』」において、日本にきている留学生を迎え、外国文化を知り体験する交流学習
 - ★奈良市の姉妹都市キャンベラの小中学校の児童生徒や先生を迎え、学校と地域の協働による歓迎・交流
 - ★中学生が地域の大人と一緒に進める防災訓練の企画・運営
- 「地域の中で子どもは育つ」ことを地域の方々が心に留め、地域を大切にしながら強く生きることのできる力を持った子どもたちを育んでいきます。



富雄第三幼稚園での地域住民ボランティアが演じる文楽公演の様子

奈良市で歴代受賞された中学校区地域教育協議会

平成23年度 富雄中学校区
平成24年度 三笠中学校区
平成25年度 二名中学校区
平成26年度 登美ヶ丘中学校区

教育長の「見る・聞く・語る」



「富より団子」が提供された給食を試食しました。

奈良市では、子どもの居場所づくりからスタートした「放課後子ども教室推進事業」を平成24年度から全小学校で実施しています。余裕教室等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の人たちの協力で一緒に勉強やスポーツ・文化活動等を行っています。

また、平成22年度から全ての中学校区を単位に地域教育協議会を組織して「地域で決める学校予算事業」を開始、地域と学校が連携・協働して、中学校区全体で地域の大人が子どもたちを守り育てる体制づくりを進めています。学習支援、環境整備、登下校の安全確保、地域と学校の合同行事等、校区の実態に応じた取組を実施しています。

この二つの事業を奈良市地域教育推進事業と呼んでおり、奈良市の取組は全国からも注目されるほどの活発な活動となっています。その理由の一つとして、各地域のコーディネーターの存在が大きいと考えています。地域ネットワークの構築・維持のためには、次を引き継ぐコーディネーターの育成が必要不可欠であるとの思いから、経験のあるコーディネーターが初任者向けのコーディネーター研修を企画・運営をするなどの取組も行われています。

また、学区ブランド産品の一つである「富より団子」は、地域コーディネーターが中心となって学習プログラムを進め、富雄中学校ボランティア部の生徒と協力して開発されました。企業との連携で販売経路の開拓まで行い、地域のイベント等で販売されています。昨年の2月には「学校給食で提供して欲しい。」と市長を交えた場で生徒たちのプレゼンテーションが行われ、今年の1月8日に中学校給食としての提供が実現しました。

地域教育推進事業は、成長期を経て、活動を定着させていく段階であり、まさしく成熟期であるといえます。地域教育協議会がしっかりと地域に根ざし、自立した組織になっていくことを目指していきたいと思います。地域とのつながりを通じて、子どもたちは世界を広げ、強さとしなやかさを身につけていくのです。これからも地域全体で学校を支援し、子どもたちを支えるための体制づくりを推進していきたいと思います。